平成28年度事務事業実績評価表

政策No.	1	施策No.	11	事業No.	56 - 2

事務事業名	農業委員会活動推進事業	会計	一般会計	実施区分	継続
		事業種別	経常	開始	終了

H29作成課等名	農業委員会事務局	H29係等名	農地係	H28担当課等名	農業委員会事務局

基本計画上の位置づけ			
	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり

目的		対象指標	指標名及び単位	28年度数値
対象(誰・何を)	農業委員		農業委員人数	34
意図(どういう状態にするか)	活動を円滑かつ活発にする			
向上させたい上位施策の成果指標	農業生産額(億円)			

目標 種別	指標名及び単位	27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
成果指標	農地相談件数	140	182	180	151	
定性目標	相談案件に対して法令を順守した上で、相談者の利益、地域農業の維持発展に貢献できる指導をおこなう。					

事業概要

農業委員の活動をサポートする
農業委員活動(農委法第6条関係)
・農地法・農振法等に基づく調査・審査・答申等
・土地改良法による農地等の交換分合
・農地等の確保、利用集積
・法人化等農業経営の合理化
・農業生産、農業経営、農民生活に関する調査研究
・飯田市に対する農業委員会の意見
・農業委員の資質向上を目的とした活動

28年度事業内容 事業内容	名称	活動指標
農地法等の法令業務における現地調査・審議を毎月1回実施	総会・役員会等	9回
各地区での農家相談会の開催(毎月1回の開催)	部会の開催数	24回
認定農業者の掘り起こし	地区協議会	72回
遊休農地の有効利用を進めるため農用地利用計画の掘り起こし	相談会の実施回数	96回
規模拡大志向農家や認定農業者への農用地の集積活動	広域調整会議	3回
農業行政施策へ農家の声を反映するための建議活動	経済団体等との懇談会	1回
農政情報の啓発活動	現地調査(転用・除外・水稲作況)	5回
	遊休地調査	全地区

事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	21,314	21,453	20,757	0	(県)農業委員会交付金(10/10) 4,891千円
国庫支出金					
県支出金	4,850	3,841	4,891		
起債					
その他					
一般財源	16,464	17,612	15,866		
人件費計(千円)②	17,422	17,422	17,422	0	
正規職員所要時間	4,000	4,000	4,000		
臨時職員所要時間	2,900	2,900	2,900		
総事業費①+②	38,736	38,875	38,179	0	

事業内容・目標達成状況の振り返り

各種の複雑な申請案件に対して、各農業委員が情報収集をおこない、適切な判断をおこなっている。また、農地の利用集積に関しても委員が中心となって積極的に活動している。耕作上の苦情にも精力的に関与して解決に至らせており、地域の農業振興の中心的な先導役として担う役割は重要である。

改革改善の考え方

①問題点	農地の潰廃、遊休荒廃化が進み、農家の高齢化、耕作環境の悪化などによる生産意欲の低下が進んでいる中で、農地の最適化を推進する農業委員の調整力を、平成29年7月以降の新たな体制下で維持できるかが課題である。
②改革提案	農地中間管理事業を浸透させ、農業委員が地域の中心となり農地流動化を推進する。また、新体制への対応では、農業委員と最適化推進委員の人数、役割分担を早期に決定し、今後の農業委員会の進む方向を示す。